

『小売におけるチェーン展開と諸問題』

1998年1月8日

最初に、チェーン・ストアとはどのようなものか、またそれに対する小売商の動向を探っていこうと思う。チェーン・ストアの増加とその競争圧力により、だんだん大規模な小売協業流通組織の出現をみるようになった。チェーン・ストアは、社会的、経済的に条件が合い、例えば都市の人口増加や自動車普及と道路の改善、整備や消費者物価の上昇などにより、その急激な増加とそれらの競争力を助長し強化する上で、最も有効な要因である市場から大量にまとめて一括購入する中央集中仕入れが効果的であるのだが、それによって規模の経済性や低価格が実現出来得るのに対して零細小売商や卸売商達は、このような仕入れ体制、その他いくらかの点で徐々にその圧力に屈していくことになる。結局それを防ぐには、彼らが自分達の生き残りをかけて協業化するのが最善の方法だったのである。

最近のチェーン・ストアの動向に、地方にチェーン店を置く地方分権化があるが、具体的にみってみる。従来、中央集権的なそれにおいて、それにおいて、グルーブ内のどの店も標準化された商品の価格やその他の設定について無批判的、かつ盲目的に小売の現場で、実践するだけだった。そうするうちに、地域の特殊事情、例でその土地の風土や伝統と言った事情に適合しない面も出てきて、その欠点の克服に力を注いでいる。例えば、『ストア・マネージャ』が地域の条件などにより、取り扱い商品や価格などを適合調整させる権限が与えられたりしているのである。』そして、チェーン・ストアなどは地域ニーズ密着型の小売事業を展開するために、地方分権化へと進み始めたのである。

大須賀明「小売におけるチェーン展開」『経済学論集』（大阪経済大学）1991年
81巻 p27

チェーン・ストアに加盟すると、どのようなメリットがあるのか見てみよう。フランチャイズ・チェーンの加盟契約を例として述べる。一般にフランチャイズ・チェーン契約は、イニシアティブを持つ親会社にとって有益な内容になっているのではないかと、思われるかもしれないが、加盟店にもいくつかの便益が得られるのである。第一に、事業開始期における失敗の危険性を低く抑えることができるのである。1)『アメリカを例にとると、新規独立企業の約50%が1年以内に、また、5年後には65%が失敗するのだが、フランチャイズ店ではたった3.3%しか廃業しなかった。』失敗の原因であるマネジメント能力の欠如と事業継続資金の不足という問題が親会社によってほぼ保証されるのである。2)第二に、主要な成功原因である排他的販売テリトリの確保、つまりテリトリ内での加盟店同士の競争回避の保証である。第三に、成功した親会社の信用を引き継ぐことになるから、開業時から顧客の信用が得られるということである。このように、加盟店は親会社から事業に関する様々な保証を得られるので、販売の業務に専念するだけでいいのである。だから、それがチェーン店の急激な成長、発展にもつながっているのである。

大須賀明「小売におけるチェーン展開」『経済学論集』（大阪経済大学）1991年
81巻 p33

チェーン・ストアと独立小売商との間の競争と展開の実態はどのようなものか、検証し

てみよう。チェーン・ストアの経営戦略の主たるものに安売り攻撃、いわゆる薄利多売があり、零細な独立小売商たちはそれに対抗するあらゆる方法を試みた。『例えば、競争相手のチェーン・ストアの長所をコピーしたり、各種の自助努力をしていった。ただチェーン・ストアに対する政策を打ち出せなかった独立小売商は競争戦線から退くことを余儀なくされた。このような状況を防ぐために、彼らは小売業者の集まる組織を作り、さらに積極的な中規模の小売店を結集し、都市部において仕入れの規模の経済性を追求しようという動きも少しずつ出てきたのである。』とにかく、小売商・中小企業は団結し合って良い政策を打ち出すことが急務である。

大須賀明「小売におけるチェーン展開」『経済学論集』(大阪経済大学) 1991年 8
1巻 p 35

独立小売商の立場に立って、このサバイバル生き残りを模索し、展望して見よう。まず、マーケティングを取り上げると、『中小小売業などは、取扱い商品や営業時間・休業日数などの機能面では大企業にかなわない。そこで残された余地は、サービスである。地域密着での対面販売の良さ、それに加えて今後は情報化が重要な役割をもってくるだろう。そこで、顧客情報をデータ化して、よりきめ細かな販売促進を行なうことが求められる。また、久しく言われている必要不可欠な問題に独立小売商の組織化・共同化がある。これらの政策が、今後急ピッチで進展すると考えられる。』結局彼らにとって、情報をどれだけ利用・活用するかというのが、これからの最重要課題であり、避けては通れない道である。

伊藤公一「流通変革・価格破壊と中小商業のパラダイム」 『三田商学研究』 1996
年第38巻 p 83

文献リスト

- 大須賀明「小売におけるチェーン展開」『経済学論集』（大阪経済大学）1991年 8
1巻
- 伊藤公一「流通変革・価格破壊と中小商業のパラダイム」『三田商学研究』1996年
第38巻